

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
高校 3 年	国語	論理国語	2	特進文系私立型
教科書・副教材		精選論理国語（東京書籍）、完成現代文（尚文出版）、新訂 国語図説 五訂版 デジタル版（京都書房）、新版完全征服 入試漢字コア 2800 改訂版（桐原書店）、読み解くための現代文単語（希望者購入、文英堂）		

科目の目標			
・「現代文」の授業では、高校二年生から引き続き、教科書の二部を扱っていきます。評論文では筆者の問題提起と主張、論拠を読み取る技術に習熟しましょう。授業中は、プリントを用いての個人ワーク、講義形式の解説、生徒同士のディスカッションや学び合いなど、目標に合わせて様々な学習方法をとってもらいます。いずれの場合も、わからない箇所は質問するなど、目標達成のための主体的な行動をとってください。 ・授業ごとにリフレクションを行います。その授業でどのようなことを学習したのかを自分の中で整理し、次の内容につなげていくようにしましょう。定期考査はその期間までの学習内容についての、重要なリフレクションの機会です。自分自身の理解度をはかるために、問題を解き直したり、重要箇所の記述説明をしてみたりするなど、授業内容をアウトプットする練習をして考査に臨んでください。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語彙を豊かにする。文章における本質的な問いに注意し、論旨を把握することができる。自らの考えを、根拠を挙げつつ、工夫された構成の文章として提示できる。文章や社会生活上で提示された課題について、文章上およびその他の情報を参考に、解決に向けて問題を焦点化できる。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	文章の形態や文体、語句、論理構成など、論理的な読解をするために必要な知識をもっている。また、それらの知識を複合的に用いながら、文章を読解する技能を身につけている。	話題について多面的に検討して自分の考えをもち、論理の構成や展開を明確にして意見を述べる力を身につけている。話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方についての的確に自己評価や相互評価を行うことができる。	文章を読み取って自分の考えを深め、相手や場に応じて表現することに意欲をもつ。言葉の働きに関心をもち、ものの見方や感じ方、考え方を豊かにしようとしている。
評価の方法	定期考査・小テスト パフォーマンス課題	定期考査・小テスト パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 リフレクション

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	《言語》「混じり合う言葉」／「思考への扉 2 言語的相対論」	4	・定期考査
	《時間》「鏡の中の現代社会」／「思考への扉 3 時代の幕開け」	5	・パフォーマンス課題
	1 学期中間考査		・リフレクション
	《情報》「おじいさんのランプ」	4	※週 1 で漢字テストを実施。
	《歴史》「原始社会像の真実」	5	
	1 学期期末考査		
2 学 期	《哲学》「ロボットは意志を持つか」	5	・定期考査
	《共同体》「社会の壊れるとき―知性的であるとはどういうことか」／「思考への扉 4 アポリア」	4	・パフォーマンス課題
	2 学期中間考査		・リフレクション
	《情報》「虚実の間に」	5	※週 1 で漢字テストを実施。
	《倫理》「抗争する人間」	4	
	2 学期期末考査		
3 学 期	受験対策		